

平成21年第6回（9月）庄原市議会定例会

# 一般質問通告者 及び 質問事項

## 質問順位

- |          |          |
|----------|----------|
| 1. 野崎幸雄  | 2. 赤木忠徳  |
| 3. 藤木邦明  | 4. 横路政之  |
| 5. 徳永泰臣  | 6. 坂本義明  |
| 7. 門脇俊照  | 8. 宇江田豊彦 |
| 9. 林高正   | 10. 谷口隆明 |
| 11. 田中五郎 | 12. 垣内秀孝 |
| 13. 福山権二 | 14. 小谷鶴義 |

庄原市議会

# 平成21年第6回（9月）定例会 一般質問

順位	質問議員	質問項目	ページ
1	野崎 幸雄	農畜産業の現状と将来展望について	1
		今後の水道拡張事業について	2
		庄原中学校の建て替えについて	3
2	赤木 忠徳	情報伝達システムについて	4
3	藤木 邦明	水道事業の公金詐欺事件等について	5
		東城まちなか拠点施設の凍結、再検討について	6
		生活道の改良、舗装と市道への認定について	7
4	横路 政之	政権交代時代の市政運営について	8
		入札について	9
		小児細菌性髄膜炎撲滅のためヒブワクチン公費助成への流れをつくろう	10
		女性特有のがん対策について	11
5	徳永 泰臣	仕事の選択肢としての農業を	12
		和牛振興について	13
		定住促進について	14
6	坂本 義明	緊急経済支援対策としてのプレミアム付商品券の発行について	15
		庄原市斎場の建設について	16
7	門脇 俊照	緊急経済対策の補正について	17
		債券運用は安心安全か	17
		里山体験博覧会について	18

順位	質問議員	質問項目	ページ
8	宇江田 豊彦	平成21(2009)年人事院勧告について	19
		保育所公設民営化の方針について	21
		庄原市奨学金貸付制度の充実に向けて	22
		市立校での労働安全体制整備について	22
9	林 高正	株式会社庄原市農林振興公社の経営状況について	23
		庄原市の基本的医療について	23
10	谷口 隆明	政権交代への市としての対応は	24
		国保一部負担金減免制度の積極的活用を	24
		木質ペレット製造工場の建設について	25
		生涯学習課業務の市長部局への移管について	26
11	田中 五郎	重点戦略3プロジェクトについて	27
		食育推進計画の実現について	27
		職員力の向上対策について	27
12	垣内 秀孝	観光行政の推進について	28
13	福山 権二	備北丘陵公園と庄原市の活性化について	29
		環境保全について	29
		会計監査について	29
14	小谷 鶴義	酪農経営対策について	30
		産官学連携によるイノシシ対策について	30
		入札制度について	31
		バス路線の変更	31

順位	1	質問者	野崎 幸雄
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 農畜産業の現状と将来展望について	<p>本市の主要産業である農業に対して庄原市農業自立振興プロジェクト事業に基づき、営農指導員の設置、かんたん就農塾、繁殖和牛の共同飼育、がんばる農業支援、家畜粗飼料生産利用促進等の事業推進により農家所得の向上、地域農業の底上げを図るとしているが、次の点について考えを伺う。</p> <p>(1) 農業自立振興プロジェクト事業の進捗状況や利用状況は。</p> <p>(2) 後継者の育成について、各部門において所得が確保、保障されることが一番の近道と思うが、どのようにして後継者を育成されるのか伺う。</p> <p>(3) 現在、水稻が約 3,550ha、乳用牛約 2,000頭、肉用牛約 3,000頭、大根 140ha、りんご 50ha 等と頑張っているが、これらの将来展望と所得目標について伺う。</p> <p>(4) 各種事業の実施、展開、充実を図るために株式会社庄原市農林振興公社を充実させるとある。決算報告はあったが、事業展開について詳しく伺う。</p>		市長

順位	1	質問者	野崎 幸雄
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 今後の水道拡張事業について	<p>飲料水確保は、人が生活する上で最も重要な問題だ。生活様式の多様化などにより水不足が発生したりと不安定であり、安心して飲む水の確保は、緊急かつ最優先されなければならないと思う。しかし、いざ配水管布設工事となると負担が多額となり、参加をちゅうちょされる方がほとんどで、水道事業が不安視される状況だと思う。負担金について既設路線の負担金も加算されるため、中心部から遠くなるほど高額になっている。高額な負担金が水道整備の障害とならないよう、負担金の減額を検討できないか伺う。</p> <p>特に共同給水管の工事代金が高額であり、これらもあわせて検討されたいが、どうか。</p>		水道事業 管理者 (市長)

順位	1	質問者	野崎 幸雄
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 庄原中学校の 建て替えにつ いて	<p>庄原中学校の全面改築案が先般発表された。平成24年度に完成し、改築方法は4案の中からグラウンドに建物を建築するという案に決定された。今後の課題が数多くあると思うが、次の点について考えを伺う。</p> <p>(1) 基本設計について、なぜプロポーザル方式に決めたのか。</p> <p>(2) 建物の位置が変わり、隣接地に民家があるが、合意は。</p> <p>(3) 3階建てと予定してあるが、木材の使用は。</p> <p>(4) 学力の向上には少人数学級がよいと言われるが、そのような教室にはならないか。</p> <p>(5) 保護者、生徒への説明は。</p>		教育長

順位	2	質問者	赤木 忠徳
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 情報伝達システムについて	<p>今年3月4日に情報伝達システム調査特別委員会の中間報告を行い、特別委員会として課題及び問題点をあげた。その後どのように解決策を構築し、どの程度進捗しているのか伺う。</p> <p>(1) アナログ放送終了後のデジタルテレビ放送へのスムーズな移行対応をどのように考えているのか。</p> <p>(2) 携帯電話不感地域の解消への取り組み状況は。</p> <p>(3) 庄原市全域をカバーするデジタル防災行政無線の設置の考えは。</p> <p>(4) 合併時に整備した光ケーブル網の利活用について、今後の方針は。</p> <p>(5) 施設等の老朽化に伴うオフトークの代替対策は。</p> <p>(6) インターネットを利用しての地域ブランド宣伝や農産品・特産品の販路拡大を図っていく考えは。</p> <p>(7) 遠距離医療の実施による地域医療の確保や安否確認方法の考えはないか。</p>		市長

順位	3	質問者	藤木 邦明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 水道事業の公 金詐欺事件等 について	(1) 設計書の偽造と物品を要求し受理していたとする件について、事件にならないだろうと判断された根拠は何か。		水道事業 管理者 (市長)
	(2) 設計書の偽造と物品を要求し受理していたとする行為は違法行為であり、市も深刻な被害を受けることになると考えなかったのか。		
	(3) 市長は、なぜこの問題を早く調査し、もっと早く議会に報告されなかったのか。		
	(4) 今回の詐欺事件等は、個人的な事案なのか。		
	(5) 水道事業管理者の職は、俗に言う市長のあて職のようなものなのか。		
	(6) 副市長に水道事業の業務指揮者としての権限が与えられているのか。		
	(7) 今回の公金詐欺事件等に加担した企業名を公表し、新たな工事は発注すべきではないのではないか。		
	(8) 管財課の併任職員は、誰の監督を受けて工事の検査にあたることになるのか。		
	(9) 水道技術管理者の資格を持たない管財課の併任職員では、工事の検査はできないのではないか。		

順位	3	質問者	藤木 邦明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 水道事業の公 金詐欺事件等 について	(10) 東城川西浄水場の工事内容の具体的な 問題点を議員全員協議会になぜ報告しな かったのか。		水道事業 管理者 (市長)
	(11) 川西浄水場の工事の完成検査は、誰が 責任者で、誰と誰で行ったのか。 なぜ不正に気づかなかったのか。 どこまで解明しているのか。		
2. 東城まちなか 拠点施設の凍 結、再検討につ いて	(1) 東城まちなか拠点施設の建設予定地と 三楽荘は道路を挟んだ近い場所にあり、 両方の建設事業をやるのは、財政難のも と、不要、不急の投資になる。したがっ て、三楽荘の取得、修繕を考えたのであ れば、決定前に議会や東城の市民会議に 十分協議し、検討すべきだった。にもか かわらず、市長が一方的に三楽荘の購入 を決めたことに大きな問題があるのでは ないか。		市長
	(2) 多くの市民や議会の多数は、三楽荘の 取得を一方的に決めた市長にまちなか拠 点施設の建設を含め再検討するよう強く 求めてきた。その経過を踏まえ、市長は、 8月の臨時議会で、東城の市民会議に今 一度検討していただくと答弁したが、市		

順位	3	質問者	藤木 邦明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 東城まちなか 拠点施設の凍 結、再検討につ いて	<p>民会議では、両方の建設事業を進めることを確認したと報道されている。今後どのように対応しようと考えているのか。</p> <p>(3) 今日に至っては、東城の市民会議と時間をかけてよく協議し、まちなか拠点施設の3倍の延床面積を持つ三楽荘にまちなか拠点施設の機能をあわせ持たせ、まちなか拠点施設の建設予定地 660 m<sup>2</sup>は、三楽荘等まちなかに来られる方の駐車場として活用することが最も望ましいのではないか。</p>		市長
3. 生活道の改 良、舗装と市道 への認定につ いて	<p>市民にとって唯一の生活道は、すべて市道として認定し、年次計画を立て、改良、舗装すべきではないか。</p> <p>また、それが実現するまでは、生活道の改良、舗装の助成割合を 90%程度に引き上げられるべきではないか。</p>		市長

順位	4	質問者	横路 政之
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 政権交代時代の 市政運営に ついて	(1) 民主圧勝、自民大敗、そして政権交代という今回の衆議院選挙の結果をどのように受けとめているのか。		市長
	(2) 今回の衆議院選挙の特徴の1つに全国知事会や指定都市市長会が各党のマニフェスト、特に地方分権改革に関する評価などで発言や関わりが注目された。こうした首長の動きをどう認識しているのか。		
	(3) 今回の衆議院選挙の争点になった地方分権、そして新しい国の形を探る意味からも道州制がクローズアップされた。地方自治の将来像をどう認識しているのか。		
	(4) 新政権の税制の焦点は、ガソリン税などの暫定税率を廃止、直轄事業負担の廃止などを通じて道路整備水準を維持するとしている。また、公共工事の見直し、削減で高速道路の無料化に充てるとしている。本市においては、建設業に決定的なダメージを与えかねないと危惧するが、認識を伺う。		
	(5) 社会保障分野では、市町村単位の国保を都道府県単位の再編し、後期高齢者医療制度と一体化していくとの方向があり、また子育て支援策の目玉として子ども手当の創設もあるが、認識を伺う。		

順位	4	質問者	横路 政之
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 政権交代時代の 市政運営に ついて	<p>(6) 産業分野での看板政策は農業で掲げている個別所得補償制度だが、どのように考えているか。農業の集約化、大規模化をめざしてきたこれまでの農政の大転換となる。全国に誇る庄原農業への影響は。</p> <p>(7) 民主党は、平成 21 (2009) 年度補正予算の執行を停止しようとしている。本市では第 3 次庄原市経済危機対策事業として 52 事業が計画されている。補正予算が停止された場合の影響はどの程度か。</p>		市長
2. 入札について	<p>平成 8 年に国土交通省は、交通関連事業の規制緩和を実施。その結果、大型バス協会には新規参入が相次ぎ、過当競争が激化し、平成 19 年には大阪吹田市でスキーツアーのバス添乗員が死亡する事故も発生した。値引きによる契約等が原因と見られる運転者の労働条件低下が事故原因とも言われている。</p> <p>(1) 本市において、貸切バスを借り上げる場合、どのような手続きを経て契約をしているのか。</p> <p>(2) 平成 12 年中国運輸局公示、一般貸切旅客自動車運送業の運賃・料金の変更命令については承知されているか。</p>		市長

順位	4	質問者	横路 政之	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
2. 入札について	(3) 運賃・料金は、公示に示された上限、 下限を遵守すべきと思うが、考えを伺う。		市長			
3. 小児細菌性髄 膜炎撲滅のためヒブワクチ ン公費助成へ の流れをつく ろう	<p>インフルエンザ菌 b 型はヒブと呼ばれ、ウイルスではなく小児細菌性髄膜炎の原因となる細菌だ。世界でワクチンで防げる病気のうち、乳幼児の死亡原因として麻しんの 78 万人に次いで多いのがヒブの 46 万人だ。国内では毎年約 1,000 人の子どもが自然感染で発症し、その 5%が死亡、25%に知的障害や聴覚障害などの後遺症が残るという深刻な病気だ。世界標準に遠く及ばない日本のワクチンギャップを少しでも埋める観点から、質問する。</p> <p>(1) 世界標準に遠く及ばない日本の予防接種体制の現状について、どう考えるか。</p> <p>(2) 市内のヒブによる小児細菌性髄膜炎の現状はどうか。</p> <p>(3) 市が予防接種の公費助成を検討する場合の要件について、考えを伺う。</p> <p>①一定の効果が認められ、特に重篤な副反応の発生がない予防接種で医療費削減効果が見込まれる場合、検討するか。</p>		市長			

順位	4	質問者	横路 政之
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 小児細菌性髄膜炎撲滅のためヒブワクチン公費助成への流れをつくらう	<p>②定期の予防接種に位置づけられなければ、検討の余地はないか。</p> <p>③任意接種の位置づけでも、定期接種と同等の救済制度が導入された場合、検討するか。</p> <p>④限られた医療予算の中で、予防接種関連予算の規模はどの程度まで考えられるか。</p> <hr/> <p>(4) 市のホームページに、ヒブワクチンの任意接種開始と取り扱い医療機関の情報を配信すべきと考えるが、どうか。</p>		市長
4. 女性特有のがん対策について	<p>本市において、国の施策として、子宮がん・乳がん検診の無料クーポン券が本年度より配付される。</p> <p>(1) 対象者にどのような日程で配付するか。</p> <p>対象者は何名か。</p> <p>受診の啓発はどのように行うのか。</p> <hr/> <p>(2) 本市の受診率は 20%とかなり低い。受診率を向上させるためにも、次年度以降もこの事業は継続すべきと思うが、考えを伺う。</p>		市長

順位	5	質問者	徳永 泰臣
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 仕事の選択肢としての農業を	<p>昨年からの急激な景気後退により、さまざまな産業で求人の減少や賃金の低下など、就業に関して将来が読めない不安定な状況が続いている。20代から30代前半で市内の企業などに勤めても250万円以下、正規職員でなければもっと低い場合もある。こうした状況の中、仕事としての農業への関心が高まっているように感じる。農業は、基本的に体を使うしんどい仕事であり、自然環境や天候、市場の動向などに左右されるなど、収入を保障できる仕事でなく、企業への就職と単純に比べられるものではないが、みずからの才覚と努力により事業を展開できる農業には、他には得られない魅力があると思う。その魅力と最低年収250万円を確保するための具体的な方策を将来に不安を感じている若者に示す必要があるのではないか。どのような職業にも向き不向きがあり、すべての若者が農業に向いているとは思えないが、選択肢として考えるだけの情報と施策が必要と考えるが、所見を伺う。</p>		市長

順位	5	質問者	徳永 泰臣
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 和牛振興について	<p>(1) 繁殖和牛の増頭対策について</p> <p>本市の畜産にかかる補助事業も平成 21 年度からより拡充され、成果を期待しているが、増頭を主として有効性を考えるなら、導入牛の年齢制限の緩和、保留牛の助成金額アップ、さらには共同集団要件を見直し、飼養戸数を増やす対策が必要だ。それを実現するには、高齢者等を対象とした畜産ヘルパー制度の対応がある。1戸で 100 頭より集落単位で 2～3 頭共同飼育の方が、和牛産地としての名声が保たれ、地域農業の活性化につながると思うが、所見を伺う。</p> <hr/> <p>(2) 肥育経営の支援について</p> <p>本市は、これまで和牛繁殖と和牛肥育が連携して子牛生産から肥育生産までの地域内一貫生産体制をつくり上げ、産肉データ収集、和牛改良、市場性の向上に取り組む、肥育農家の役割は非常に大きい。21 年度事業において広島牛肥育経営支援事業が新設されたが、現在の肉牛情勢は予想をはるかに超えた悪い状況になっているため、現行制度を拡大し、次年度以降も継続して肥育経営支援をしていく必要があると思うが、所見を伺う。</p>		市長

順位	5	質問者	徳永 泰臣	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者
3. 定住促進について	<p>人口の減少が進む本市においては、一昔前に比べると周りに独身者が増えたとよく言われる。数字的にも25歳から44歳の総人口が平成2年から平成17年で3,522人減少している反面、25歳から44歳の未婚者数は450人増加している。特に男性の未婚者数は、平成17年で女性の2倍と、男性の結婚を取り巻く状況の厳しさが数字に表れている。また、女性の未婚者数も平成2年の447人から平成17年の754人と急増し、男性だけの問題でなくなっている。本市も定住促進についていろいろな支援、施策等を講じているが、安芸高田市では定住促進に結婚コーディネーター23人を任命し、市公認の縁結び役として、結婚を望む独身者の情報を交換し、成婚、定住へ導いている。コーディネーターは奉仕で活動し、成婚して市内定住が決まれば、活動経費を兼ねて30万円が支払われることになっている。このような安芸高田市の事例も出会いをサポートするひとつの手段としては効果があるのではないか。所見を伺う。</p>			市長

順位	6	質問者	坂本 義明	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
1. 緊急経済対策としてのプレミアム付商品券の発行について	<p>(1) 商工会議所、商工会の取り扱い方法及びPR活動は十分であったのか。</p> <p>また商工会議所、商工会ごとの発行額の内訳はどのようになっていたのか。</p> <p>買いたいときには既にないという状態だった地区と、しばらく売れない地区があったと聞くが、実情はどうであったのか。</p>	市長				
<p>(2) 取り扱い業者の傾向について、予想されていた量販店にかたよっていたのか、業績別に何う。</p> <p>特にガソリンスタンドの利用状況はどうであったのか。</p>						
<p>(3) 商工業者及び消費者（すべての市民）に向けてのやさしさのある政策としてぜひとも続けてほしい。三次市、安芸高田市では2～3回計画されていると聞くが、本市において再度計画される考えがあるのか何う。</p>						

順位	6	質問者	坂本 義明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 庄原市斎場の 建設について	<p>(1) 昭和50年に建設されているのでずいぶん古いですが、建て替えをする計画があるのかどうか。</p> <p>計画があるとすれば何年ごろになるのか。</p> <p>たちまち建て替えの予定がないのならリフレッシュの意味で、塗り替えはできないのか。</p> <p>-----</p> <p>(2) 指定管理は、いつごろから実施しているのか。</p> <p>古くは、管理者が金品を受け取っていたと聞いていたが、現在はそのような例はないのか。</p> <p>-----</p> <p>(3) 使用料は近隣市町と比較してどのようになっているのか。</p> <p>-----</p> <p>(4) 三次市では建て替え場所の選定等で大変物議を醸し出している。早目の建設に対する環境整備が必要であると思うが、どう考えているか。</p>		市長

順位	7	質問者	門脇 俊照	答弁を 求める者
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 緊急経済対策の補正について	<p>先の衆議院選挙で民主党が歴史的な大勝をし、鳩山総理による新政権が誕生した。後期高齢者医療制度や障害者自立支援法、年金問題や郵政民営化などは早期見直しが行われると思う。しかし、心配なこともある。緊急経済対策として本市も12億円余りの補正を組んだが、中には3年継続のものもある。新政権になり、見直し、打ち切りはないのか。もし、見直しが実行された場合はどのような考えがあるのか伺う。</p>		市長	
2. 債券運用は安心安全か	<p>7月8日の朝日新聞に、自治体、多額の評価損の見出しで、全国の24市町村が総額430億円の仕組み債を購入し、うち9市町が公表している評価額は元本の2～3割が目減りしている。24市町村の中で本市も5億円運用していることが掲載された。議員全員協議会で運用による損失はない、元本割れもないと説明を受けた。ハイリスク・ハイリターンの仕組み債運用には、元本確保はあっても元本保証はない。デリバティブを組み込んだ債券などは、今日の円高でドルやユーロ仕立てに大きな影響があると思う。プロの銀行や証券会社さえ多額の損失を出している。本市の運用は100%安心安全なのか。</p>		市長	

順位	7	質問者	門脇 俊照	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
3. 里山体験博覧会について	<p>観光公社が設立され、具体的なことはこれからだと思うが、新しい観光事業に期待している。事業担当副市長や商工観光課などと話をしてしていると、里山体験博覧会という言葉聞く。来年に開催するようだが、その規模、内容が表明されていない。里山体験博覧会の実施内容を伺う。</p>		市長	

順位	8	質問者	宇江田 豊彦
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1.平成21(2009) 年人事院勧告 について	<p>8月11日、人事院は勧告を行った。深刻な経済不況を反映し、民間との給与格差を調整するため、平均0.2%給与の引き下げ改定と住居手当廃止を求めた。また5月に臨時勧告を行い、0.2カ月分の期末勤勉手当を減額すべきとしたが、今回の本勧告では0.35カ月の減額勧告がされた。6月議会で市長は、8月に出される予定の人事院本勧告を勘案し、また市内の経済状況を見極めながら、12月のボーナスにおいて所要の減額を行うよう考えていると答弁された。今日の経済状況から公務員の収入減による地域経済への影響は大きなものになると懸念している。</p> <p>(1) これは一層地域経済を冷え込ませるものであり、政府が進めている景気対策の考え方と矛盾すると思うが、この勧告をどう認識しているのか。</p> <p>(2) 仮に今回勧告どおり本市で実施した場合、どれだけの影響額が出るのか。</p> <p>(3) 市職員、その家族が消費する額が減少し、少なからず地域経済に反映することになり、市長が先頭に立って進められている経済対策へ水を差すことにもなりかねないと思うが、どう考えているか。</p>		市長

順位	8	質問者	宇江田 豊彦
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1.平成21(2009) 年人事院勧告 について	<p>(4) これまで本市職員の給与勤務労働条件は、人事院勧告に準拠して決められていると認識しているが、間違いないか。</p> <p>また現在、本市では職員給与の独自カットを行っており、人勧準拠の基本路線からかけ離れたところにある。今回出された人事院勧告を実施するのであれば、独自カットをやめ、人勧準拠で行うべきと思うが、見解を伺う。</p>		市長

順位	8	質問者	宇江田 豊彦	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
2. 保育所公設民 営化の方針に ついて	<p>平成 17 年 11 月の臨時議会で保育所民営化 について、現段階では向こう 10 年間の計画は 立てていないが、10 年間で公立の 2 分の 1 を 民営化させ、民営化にあたっては、地域に複 数ある公立保育所のところを優先させる。そ れ以外でもニーズの拡大等、必要なものにつ いては含めていこうと考えている。こうした 基本的な考え方に立ち、今後の児童数の推移 等勘案しながら、具体的な民営化の計画を取 りまとめていきたいと答弁されているが、計 画はどのようにまとめられたのか伺う。</p> <p>(1) 10 年間の計画なら既に 5 年を過ぎよう としているが、いまだに議会への説明も されていない実態をどう考えているか。</p> <p>(2) そうした中でも、総領保育所の保護者 に対して指定管理に向けての説明会が実 施されたと聞くが、今までの議会答弁を 踏まえた取り組みなのか。</p> <p>(3) 平成 17 年 11 月の臨時議会においても 指定管理に移行するには拙速であるとの 指摘が多く議員から出されたが、このま ま行けば地元への対応は期間的に拙速に なると思うが、考えを伺う。</p>		市 長	

順位	8	質問者	宇江田 豊彦
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 庄原市奨学金貸付制度の充実に向けて	<p>本年3月議会において、通学費を含めた経済的理由により就学ができないということがないように、庄原市奨学金貸付制度の目的に沿った就学支援の充実を図ってまいりたいと答弁されたが、どのような内容でいつ実施をしようとしているのか。</p>		教育長
4. 市立校での労働安全体制整備について	<p>今年から教職員の入校、退校記録の取り組みが始まり、大きな期待が寄せられたが、記入のみに終わり、全く活用されていない状況になっているのではないかと心配している。</p> <p>(1) 教育委員会は、入校、退校記録による教職員の長時間労働についてどう把握されているのか伺う。</p> <p>-----</p> <p>(2) 学校衛生委員会など開催状況を含め、この記録が学校現場でどのように生かされているのか伺う。</p> <p>-----</p> <p>(3) 月80時間を超える教職員の数、うち面接指導を受けた教職員の数を伺う。</p> <p>-----</p> <p>(4) 各学校長への指導、点検状況と労働安全体制整備に向けた決意を伺う。</p>		教育長

順位	9	質問者	林 高正	答弁を 求める者
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 株式会社庄原市農林振興公社の経営状況について	(1) 今回、議会に報告された株式会社庄原市農林振興公社の報告書を見ると、商品在庫がおよそ 3,000 万円ある。そして原材料として 700 万円余りが計上されている。これらの在庫や原材料はどういうものか、品目別に伺う。		市長	
	(2) 株式会社庄原市農林振興公社が発足以来今日までの資本金は当然国の経済対策や市独自の補助金などだが、投資金額は総額いくらか伺う。			
	(3) 将来的にこの会社はどういう方向に向かっていくのか、基本的考えを伺う。			
2. 庄原市の基本的医療について	(1) 庄原市の地域医療を考える会が6月21日に発会したが、その後の活動はどのようになっているか。		市長	
	(2) 県北部の拠点病院は、三次中央病院と認識しているが、庄原赤十字病院と西城市民病院の位置づけ、3病院の医療連携はどのように考えているのか。 さらに開業医との連携などの将来ビジョンを伺う。			

順位	10	質問者	谷口 隆明	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
1. 政権交代への 市としての対応は	<p>民主党中心の新政権が誕生した。後期高齢者医療制度の廃止や障害者自立支援法の応益負担の廃止、生活保護の母子加算の復活、高校授業料の無償化など、市民生活を守る上で大いに役立つ政策も多い。市長会等を通じた要望活動等でも、早期にこれらが実現するよう働きかけるべきと考える。他方、民主党のマニフェストには日米F T A (自由貿易協定)の促進など問題も多い。民主党政権への市長の評価と今後の基本的な対応を伺う。</p>			市長		
2. 国保一部負担 金減免制度の 積極的活用を	<p>(1) 厚生労働省通知、生活に困窮する国民健康保険の被保険者に対する対応について(本年7月1日付)では、一部負担金の減免制度の積極的活用や医療機関、国保、生活保護の連携によるきめ細かな対応などを述べている。派遣切りなどで突然に失業状態になった人も多い現在、特に重要だ。本市では、どのようにこの通知を具体化しているのか。</p> <p>(2) 通知は、医療機関、市町村の国保部局、福祉事務所等に、国民健康保険の保険料や一部負担金を支払うことが困難な被保険者が相談に訪れた場合、十分な情報提</p>			市長		

順位	10	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 国保一部負担 金減免制度の 積極的活用を	<p>供ときめ細かな相談対応ができるよう指示している。気軽に相談や申請ができる雰囲気づくりが各関係機関にできているとは思えない。もっと積極的に取り組むべきではないか。</p>		市長
	<p>(3) 国保税は支払えることが不思議なぐらい高くなっている。これ以上の引き上げは論外だと考える。高すぎる国保税を引き下げ、引き下げられた国庫負担金をもとの水準に戻すよう、新政権に働きかけるべきだと考えるが、どうか。</p>		
3. 木質ペレット 製造工場の建 設について	<p>(1) 廃材を原料とする場合と比較して林地残材や間伐材を原料とする場合、集材コストや乾燥、粉碎コストの負荷軽減が課題であった。木材収集実験や技術発展でこの課題はクリアできたのか。</p> <p>経営の厳しさが予測されるが、経営見通しは。</p>		市長
	<p>(2) 資本金の出資額が、庄原市、備北森林組合以外、一律 50 万円となっているが、各団体の経営規模や新会社とのかかわりなどの考慮は必要ないのか。</p>		

順位	10	質問者	谷口 隆明	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
				3. 木質ペレット 製造工場の建 設について	(3) バイオマス産業団地構想の進捗と今後の基本的な推進方針を伺う。	市長
				4. 生涯学習課業 務の市長部局 への移管につ いて	<p>(1) 平成20年度、教育委員会議において、生涯学習業務の市長部局移管に係る基本方針を議論しているが、この問題での教育委員会の基本認識を伺う。生涯学習は、家庭や地域に開かれた、あるいは地域と連携した学校教育の大切さを強調される。教育は、学校教育と社会教育が一体で進めるべきではないのか。</p> <p>(2) 東城の公民館活動の歴史と実践は、一言では語れない豊富な内容だ。自治振興区の枠を超えて全町的に取り組んでいる行事や講座も多く、自治振興センター化にはなじまないと考える。今後どのように進める考えか伺う。</p>	市長 教育長

順位	11	質問者	田中 五郎
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 重点戦略3プロジェクトについて	<p>(1) 成果と問題点をどのように整理し、長期計画（後期）に臨もうとしているのか。</p> <p>(2) 3プロジェクトに共通している市出資法人公社をそれぞれどのように位置づけようとしているのか。</p> <p>(3) 施策実現に大事なことは、①住民に知らせる、②住民の意見を聞く、③住民と一緒に行動することだと考えるが、3プロジェクトのその仕組みは。</p> <p>(4) 外部監査、経営コンサルを入れる必要があるのでは。</p>		市長
2. 食育推進計画の実現について	<p>(1) 市長の食育に対する基本的認識は。</p> <p>(2) 推進体制と推進状況は。</p> <p>(3) 食のまちづくり条例（仮称）に格上げを。</p>		市長
3. 職員力の向上対策について	<p>(1) 胸を張って語られる職員力向上対策は。</p> <p>(2) プロ行政マン（自信と誇りと実績）をどう育てようとしているのか。</p> <p>(3) 出張旅費 10,000 円／人程度で情報収集力、企画力が育つのか。</p> <p>(4) 部長制を復活すべきでは。</p>		市長

順位	12	質問者	垣内 秀孝
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 観光行政の推進について	(1) 長期総合計画に沿う重点戦略プロジェクト、みどりの環経済戦略ビジョンの三本柱の1つである観光振興の具体化について、基本的な考えを伺う。		市長
	(2) 観光協会連合会の育成強化と準備段階である観光公社との連携と組織役割をどう仕分けるのか伺う。		
	(3) 日本の風景を代表するとして自然公園法に基づき指定されている比婆・道後・帝釈国定公園に包含される地域の活用策と中国地方で唯一の国営公園である備北丘陵公園とのリンクと県北一帯の観光展開をどうするのか伺う。		
	(4) 中国横断自動車道尾道松江線は平成 20 年代後半に供用開始と予測される中で、本市の観光施策の具現化をどうするのか。		
	(5) グリーンツーリズム、スロートーリズム等の呼称があるが、民間の協力と力をどう引き出すのか。 また、農家宿泊施設改造助成事業の取り組みと現況はどうなっているのか伺う。		
	(6) 特産品開発として、商工会及び商工会議所で各会員が努力されているが、強力な支援方策の考えがあるのか伺う。		

順位	13	質問者	福山 権二
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 備北丘陵公園 と庄原市の活 性化について	(1) 備北丘陵公園の入場者数は、さまざまな企画により増加しているが、この入場者が市内経済に対してどのような波及効果を獲得しているか、その現状について伺う。		市長
	(2) 備北丘陵公園の入場者を市街地経済活性化につなげるための本市の対策をどのように実行されているのか伺う。		
	(3) 備北丘陵公園で開催される各種イベントの際、市内商業者の出店環境整備などが、グリーンウインズさとやまの取り組み等を通じてどのように実行されているのか伺う。		
2. 環境保全について	本年3月、備北丘陵公園内で発見されたPCB汚染物質の処理について、殿垣内町で民間業者により対応する計画があり、現在、この計画は中止されたと報告しているが、経過と現状、今後の見通し、本市のこの種の動向に対する基本姿勢を伺う。		市長
3. 会計監査について	本市の会計監査を外部監査とすることを検討すべきと考えるが、見解を伺う。		市長

順位	14	質問者	小谷 鶴義
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 酪農経営対策 について	(1) いまだ危機を抜け出せない酪農家から要望書が提出されている。今回の 2,700 万円の補正予算は酪農家に初めての対策と思うが、次年度以降もこの予算が継続できるか伺う。		市長
	(2) 昨年までの酪農経営は、倒産か、廃業かの選択を迫られる状態であった。内容は、乳価の下落、飼料の高騰、子牛価格の下落で、この状態が現在の経営危機をつくり出している。しかし、今回の補正予算の中で導入牛対策費を組んでいるが、それ以前に牛を導入した資金の返済ができない経営になっている。経営回復のため、以前の導入牛に対して利用できる制度に変更できないか伺う。		
2. 産官学連携によるイノシシ対策について	イノシシ対策については、決算審査でも成果に対して質疑があったが、そんなに急いでもできるものではないという答弁だった。イノシシが各地で暴れまわっており、防衛に対しほとんど困っている。そこで大学と一緒にイノシシ対策をしてはどうか。		市長

順位	14	質問者	小谷 鶴義	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者
3. 入札制度について	<p>先日行われた公用車の入札はマツダ車限定であり、結果は専門ディーラーが落札された。入札参加者は大変不満で、専門店が入札参加するなら一般業者は落札できない、何か形式で入札参加を要望されたとしか思われないなど、ふんまんやるかたない声であった。経済対策補正予算の事業執行で旧周辺部の小さな工務店がアップアップしている。入札は制度だからとはねつければ、一般業者から文句は言えない。しかし、地域が疲弊する中での今回の補正予算は、大が小を飲み込むような状態ではないか、所見を伺う。</p>			市長
4. バス路線の変更	<p>バス路線の変更を支所をお願いしている。すべての道はローマに通ずとの言葉があるが、市民が庄原市に来やすい、また来られる状態をつくるべきだ。今、庄原赤十字病院も利用者が減っている。地域の便利さを考え、1人でも2人でも利用が見込める路線変更を希望するが、乗り手がないとバスは廃線になる。これから先、地域の高齢化が進み、現在運転のできる人も後々の保障はない。このままでは便利性から三次に人が流れる。どう判断されるのか伺う。</p>			市長